

明るいまちづくりをめざしましょう。

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

**差別なし
平和に創る 未来地図**

今日の人権標語

令和6年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

赤名小学校6年 倉橋依未さん
家族名直之さん

ハートと手のイラスト

短歌 赤名短歌会 十二月例会

ひえびえと霧の流れるこの道を通いし日々は遠くなりけり
縄ないて師と先達の声聴こゆ唯ひたすらに短歌つづけよと
ようこそとアサギマダラを招きたる藤袴笑みてわが里は秋
朝ドラは流し見なれど『ばけばけ』のあげそげだんだんつい口に出る
地震火災気候異変に物価高厳しい年の瀬にサロンこそ励み
要約のプレゼンし合う児童らの声の弾みて錦秋の空
車窓より上根峠の分水嶺陰に流るる陽に流るる
うなずきて話に耳を傾ける息子のありて安らぐ夕べ
下校児の元気な笑顔に励まされやかんのお茶飲みまた草を刈る

石田修司	本間麗子	澤田勝登	鳥田勝信	門所詠子	星野敦子	吉川暎子	清原豊明	澤田久美子
------	------	------	------	------	------	------	------	-------

●2月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(土) 10日(火)
赤名	21日(土) 25日(水)
来島	13日(金) 18日(水)

[クリーン㈱] ☎ 72-1401(頓原地域)
[クリーン㈱] ☎ 76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南省・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。
雲南省・飯南町事務組合ホームページ



やすくかに								
お名前			親族			地区		
石田一秀様	渡り延枝様	井上美鈴様	花田英夫様	朝日冷子様	藤原賢治様	宮崎重信様	景山祥	山川優
(88)	(93)	(91)	(95)	(78)	(93)	(94)	(93)	(谷)
丈強	修人	幸治	介(上木)	介(寺沢)	篤宣	川東		
(上赤名)	(町区)	(上赤名)	(木)	(寺沢)	(町区)			

●2月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
頓原	町区、敷波(古城・稻荷・田鍬下)	9日(月)	24日(火)
	都加賀、奥畠、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田鍬西・田鍬東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・才谷1・才谷2)、志津見、角井	10日(火)	25日(水)
	川東、川西(南)	12日(木)	26日(木)
赤来	赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	2日(月)	16日(月)
	上赤名、下赤名、谷、上來島(上來島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下來島	3日(火)	17日(火)
	上來島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	4日(水)	18日(水)

[いいしクリーンセンター] ☎ 72-9217



皆さん明けましておめでとうございます。

新年を迎えた飯南町ふるさとの森は静けさに包まれています。

今回は、冬には“白銀の森”とも呼ばれる飯南町ふるさとの森と、レベルアップ講座の様子を紹介します。



白銀の森スノーシュ散策

皆さんは冬の森を歩いたことがありますか?

飯南町ふるさとの森はご存じの通り雪が深く積もるので、歩くとなるとスノーシューが必須。冬はガイドと一緒に、スノーシューを履いて森を散策します。冬の森では普段は見ることのできない動物の痕跡に出会えることも。足跡や糞など、雪がない時期には隠れている動物の痕跡を見つけるのも楽しみの一つです。

飯南町観光協会でスノーシューのレンタルもできるので、雪のふるさとの森を楽しんでみてください。

レベルアップ講座

先日、森林セラピーガイド向けのレベルアップ講座を開催しました。今回は初めての試みとして「シェアリングネイチャー」という自然体験プログラムを行いました。「シェアリングネイチャー」とは、参加者が「自分も自然の一部である」と実感し、その気づきを互いに分かち合う(シェアする)活動のことです。

講師をお招きしての講座は、ガイドの皆さんにとっても新鮮で楽しい時間となったようです。普段から高い意識をもって活動されているガイドの方々ですが、今回も自然との関わり方や案内の工夫など熱心に話し合っておられました。

最後になってしましましたが、2026年も飯南町森林セラピー、飯南町観光協会をどうぞよろしくお願い致します。(杉山)



こんにちは
中山間地域研究センターです。

スギの受粉と、成長が良く花粉の少ないスギの種子生産の取り組み

●中山間地域研究センター ☎ 76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



写真1 スギ雄花

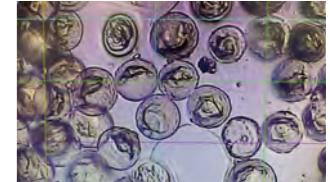


写真2 スギ花粉(90倍)



写真3 スギ雌花と分泌した珠孔液(赤丸)



写真4 人工授粉作業

島根県中山間地域研究センターでは、令和5年度から成長が良く花粉の少ないスギ特定母樹の種子生産技術の研究に取り組んでおり、今後、花粉症の発生源対策になるだけでなく、林業経営の収益力向上にも寄与することが期待されています。そこで今回はスギの受粉と、種子生産現場での人工授粉についてお話をします。

スギは一つの木に雄花と雌花の両方が付く雌雄同株とよばれる樹木です。毎年2月中旬頃になると雄花(写真1)が開花して花粉(写真2)の飛散がはじまります。花粉は風に乗って数十キロ飛ぶこともあります。風に乗って運ばれた花粉は、別のスギの雌花に付着して取り込まれることで受粉します。このように花粉を風に乗せて運ぶ植物を風媒花といいます。

雌花は開花後に胚珠(種子のもとになるもの)から

珠孔液(写真3)とよばれる透明な液体を分泌します。この珠孔液に花粉が付着し、珠孔液ごと花粉が胚珠へ取り込まれることで受粉が成立して充実した種子が作られます。

種子生産の現場では、選抜したスギ特定母樹同士を交配させて種子を生産します。一方のスギから採取した花粉を、人の手で別のスギの開花した雌花へ吹き付ける作業を行います(写真4)。珠孔液は1つの雌花から1週間程度しか出ないため、開花状況や珠孔液の分泌状況を見極めながらタイミングを逃さず授粉作業を行う必要があります。

いよいよ令和8年度から、これらの種子から生産された特定苗木が県内の造林地で植栽されはじめます!

島根県中山間地域研究センター
森林保護育成科 ☎ 76-3822